

二人の姉妹

1 お部屋にすわっているのは二人の姉妹

ビノリー ビノリー

そこへ騎士がやってきて 二人の姉妹に言い寄りました

きれいなビノリーの水車のほとり

2 騎士は手袋と指輪で姉に言い寄りました

ビノリー ビノリー

でもほんとうは誰よりも妹が好きでした

きれいなビノリーの水車のほとり

3 騎士はブローチとナイフで姉に言い寄りました

ビノリー ビノリー

でもほんとうはわが命よりも妹が好きでした

きれいなビノリーの水車のほとり

4 姉はたいそう気を悪くして

ビノリー ビノリー

きれいな妹をねたみました

きれいなビノリーの水車のほとり

5 姉は妹に言いました

ビノリー ビノリー

「お父さまの船を迎えに行きましょう」

きれいなビノリーの水車のほとり

6 姉は妹の白百合の手をとって

ビノリー ビノリー

川岸へ連れて行きました

きれいなビノリーの水車のほとり

7 妹は石の上に立ちました

ビノリー ビノリー

姉が近づいて突きおとしました

きれいなビノリーの水車のほとり

8 妹の細い腰をもって

ビノリー ビノリー

背中をおして水のなかへ

きれいなビノリーの水車のほとり

9 「ああ お姉様 お姉様 手をかして

ビノリー ビノリー

そうすりゃ 領地の半分をさしあげます」

きれいなビノリーの水車のほとり

10 「ああ 妹よ 誰が手などかすものか

ビノリー ビノリー

それでも おまえの領地はみなわたしのもの

きれいなビノリーの水車のほとり

11 「その手を握ってなるものか

ビノリー ビノリー

その手がわたしからあの騎士を奪ったのだ」

きれいなビノリーの水車のほとり

12 「ああ お姉様 手袋でいいからさしだして

ビノリー ビノリー

そうすりや ウィリアムはあなたのもの」

きれいなビノリーの水車のほとり

13 「潮おほれてしまえ 手や手袋はもつてのほか

ビノリー ビノリー

それでも ウィリアムはわたしのもの

きれいなビノリーの水車のほとり

14 「おまえのそのさくらんぼの頬と金髪のおかげで

ビノリー ビノリー

わたしは一生男知らずになるところさ」

きれいなビノリーの水車のほとり

15 妹は浮いては沈み 浮いては沈み

ビノリー ビノリー

水車の堰せきまで流れてきました

きれいなビノリーの水車のほとり

16 「ああ お父さん 堰せきを閉めてください

ビノリー ビノリー

あれは人魚か白鳥か」

きれいなビノリーの水車のほとり

17 粉屋せきが急いで堰せきを閉めました

ビノリー ビノリー

娘おほが溺おほれて死んでいます

きれいなビノリーの水車のほとり

18 その金髪せきがみえません

ビノリー ビノリー

金や真珠の髪飾せきりがあんまりぴかぴか光るから

きれいなビノリーの水車のほとり

19 細い腰せきがみえません

ビノリー ビノリー

金の帯せきがあんまりぴかぴか光るから

きれいなビノリーの水車のほとり

20 人気せきものの堅琴たてこひきが通りかかり

ビノリー ビノリー

娘おほのきれいな蒼あおい顔せきに目をとめました

きれいなビノリーの水車のほとり

21 堅琴たいしんひきは死んだ娘をうち眺めなが

ビノリー ビノリー

ため息ついて泣きました

きれいなビノリーの水車のほとり

22 堅琴たいしんひきは娘の肋骨ほねで琴をつくりました

ビノリー ビノリー

その音は石の心もやわらげます

きれいなビノリーの水車のほとり

23 堅琴たいしんひきは娘の髪で弦を張りました

ビノリー ビノリー

そのしらは人の心を悲しませます

きれいなビノリーの水車のほとり

24 堅琴たいしんひきはそれをもってお城へ行きました

ビノリー ビノリー

そこにはみんなが勢揃いせいぞろ

きれいなビノリーの水車のほとり

25 堅琴たいしんひきはその琴を石の上におきました

ビノリー ビノリー

たちまち琴はひとりでに鳴りだしました

きれいなビノリーの水車のほとり

26 「あちらにおすわりなのが お父様の王様

ビノリー ビノリー

あちらにおすわりなのが お母様の女王様

きれいなビノリーの水車のほとり

27 「あちらにお立ちなのが お兄様のヒュー

ビノリー ビノリー

そのそばには やさしく立派なウィリアム」

きれいなビノリーの水車のほとり

28 琴がならした最後の音は

ビノリー ビノリー

「ひどいお姉様のヘレンにわざわいあれ」

きれいなビノリーの水車のほとり

(薮下卓郎訳)